

21/3/25 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会（第23回）
名古屋市民オンブズマンによるメモ

14:00

名古屋城：はじめる

佐治：石垣部会 全体整備会議に諮ることを ご了承いただいた

名古屋城：出席者紹介

資料確認

指摘事項への対応について

進行は座長に一任

瀬口：久しぶりの天守閣部会 しかも雨の中

議題は1つ

事務局から説明を

名古屋城：事前に文化庁に相談した

文化庁「地元有識者 合意して提出して」

このままでは細かすぎる 多すぎる

一問一答形式で端的に答えを

午前中 石垣部会意見 説明したあと報告

1-1 指摘事項

村木：考古学的調査 その後工学的

ア 内堀地下遺構把握

回答は1-6まで

資料は1-7以降

名古屋城：工学的解析 2

目立った空隙はない

天守台石垣に影響を与えるものではない

力学的に独立

解体の仮設物、木造最大荷重時 検討

天守台北内堀、西側内堀、小天守

それぞれ解析

- 1-1 高さまとめ
- 1-2 軽量盛り土 埋戻し
- 1-3 結果

村木：石垣カルテ見直し

御深井丸発掘調査

1-13

通路部 遺構の存在は希薄

茶庭部分 水路 間知石の片側 かく乱で壊されている

15センチ かなり浅いところ

A区 御番所の跡 盛り土が厚い 瓦を含む盛り土

遺構は今回は発見できず

礎石部 近世の遺構は存在しない

盛り土という遺構はある

青いところが近世の盛り土

名古屋城：工学的解析

遺構は極めて少ない

資料1-15 見直し

1-4 比較表

右下 礎石の保存と展示場所の整備

文化庁の指摘事項と直接関係がない

再建時に礎石を見下ろせるように 新聞

当時の意図を引き継ぎ、現在の位置での展示を継続する

水はけが悪くなる 木造天守完成し仮設物撤去後、環境整備を行う

ウ 北面石垣はらみだし検討

村木：はらみだし 裾部石垣 発掘調査で確かめる

ア1番 D区 R区

根切が残っている 築石 変状はない

地盤の確認 かく乱等が前面に及ぶことは確認されていない

名古屋城：工学的考察

背面空隙 石垣を押し込む危険性はないと考える

村木：エ 石垣

石垣部会にはかって、石垣カルテ 外観調査をもう一度よく見直して

より精緻に行う

資料 1-19~23

資料 1-24~27 石材割れ、剥離 対応必要

1-28~30

縦方向 1メートルピッチ +横方向も

下 反応が出ていない 栗石がないわけではない

土やモルタル 栗石が埋まっていると解釈

横方向 下は反応がない

名古屋城：表面剥離対策

内堀軽量盛り土 接触することで表面剥離進行可能性

他城郭先例 より優れた方法を検討

御深井丸石垣

村木：まずは外観総合評価表見直し

1-31~33

1-34~37

名古屋城：内堀

築石 間詰石欠落

有識者会議にははかっていないが、御深井丸、鶉の首など調査する

資料 1-6 まとめ

天守台石垣 変状は認められず

背面に空洞は認めれず、内堀保護工や仮設物設置等で押し込む危険性はない

来年度精査して有識者に諮ってレーダー探査

内堀石列 今後文化庁や有識者に相談

現状変更を必要とする理由

資料 1-39~46 追加で提出

文化庁に相談 ご助言いただいた

2月9日 おおむねのご了承を得た

全体整備検討会議で

資料 8 ページ

資料の説明は以上

石垣部会の意見の紹介

細かな修正

ほぼ完ぺきに答えられたのではないか

御深井丸石垣が気になるが、レーダー探査 調査を

石列 不十分になった わかったこと、わからなかったこと
変形 斜路 10数ミリ傾く
発泡スチロール 数ミリ
文化庁への回答 頑張ってやられた成果だと思う

14:57

瀬口：1時間弱にわたって説明ありがとう

麓：石垣埋蔵部会でも質問になったかも
内堀新たに検出された石列
御深井丸側で途切れている
根切がそこまでなのか、石垣側までいっているのか
石列が確認されているところでもそうか

村木：前面にわたって根切を調べる 範囲を超えている
築城時盛り土を切って石が座っている
石列途切れているところ 判断した根拠
同じ高さから掘り下げても石がない
1-9ページ ここが西の端 御深井丸
少し大きな石が密集している
これを外して調査はできない
高さ的には下がっている
石列 高さがそろっている
その高さでは存在しない
下の状況 確認できていない
今はなさそう

麓：抜き取られたかも確認できていないということか
資料1-3
御深井丸側内堀石垣 根石付近まで改変
石垣のことか、掘り底か

村木：M区
石垣自体 根石小さい 前面まで瓦を含む包含層
おそらく石垣まで改変

麓：宝暦以降の石垣の積み方か

村木：状況からはそう
積み方は粗雑
いつの自体かわからない

麓：粗雑かどうかで時期は判断できない
時期はいろんな時期がある
特徴 宝暦以降の特徴か
同じ面の違うところ 粗雑じゃない いつごろか

村木：築城期の姿をとどめている
根切 立派な意思が使われている
M区 同じ時期ではないだろう

麓：根石の大きさ
石垣そのものの大きさでは判断していない？

村木：根石が改変されている

麓：じゃあいつの時代なのか気になる

村木：今後検討したい

瀬口：ほかには

川地：確認したい
内堀に仮設構造物検討
1-12 以外と素屋根の荷重は軽いんだなあ
EPS工法をやるという話だった
発泡ポリスチロール 0.35 0.29
レベル調整のため、碎石、コンクリート
碎石 比重2 コンクリートより軽い
10センチ敷くと20キロ
相当大きくなる
養生するから、荷重は関係ない？自重はどう考える

竹中上村：すべて碎石の比重も含めてモデル

すべて入っている
素屋根自体 鉄骨 4500トン
ほぼ外周回り 5-7メートル べた基礎
見た目は軽く見える

川地：1-12 89キロパスカル
砕石の重量も含まれている

竹中上村：埋め戻す
上は
下 重量データが入っている

川地：出てきた石垣 新たに砕石も加味している

竹中上村：堀底より下

川地：理解した 入っている
石垣とは関係ないが、将来の姿
1-41 大手馬出 明治30年に馬車が通るため埋めた
濃尾地震までは大手馬出 多門櫓
本丸多門櫓と一緒にあったはず
濃尾地震 相当な被害でなくなった
過去の姿 大手馬出の多門櫓
外側は1間武者走り
本丸の多門櫓を復元するなら、大手馬出の多門櫓も
窓の数まで書いてある

名古屋城：本丸大手馬出多門櫓
さらに上位の計画 保存活用計画の範囲内
書いていない
将来的に構想を見直す中で検討したい

瀬口：ほかには

麓：資料1-6 課題と対応策
被熱と劣化 石垣保存 仮設物設置前に実施する
令和3年夏ごろ 石垣保存方針 石垣補修を行う

築石表面被熱劣化 結構難しい

どの程度までを修理するか 現状のままでおいておくのか
1個ずつの石ごとに検討

他城郭

ここまで明確 令和3年夏ごろ 回答するのがよいのか
本当にできるのか

やってから仮設工事に取り掛かってよいのか
時間が短すぎる

かなり劣化しているところが多い

これだけの面積 かなり時間がかかる

全部補修したうえで工事に取り掛かることが必要なのか
ちょっと疑問に思う

石垣の保存方針 検討するくらいではダメか

「修理します」と言わないと、文化庁への回答が成立しないか

名古屋城：成立しないかわからない

夏ごろをめど

完成したものか 段階的にまとめる

表面の補修 内堀保護工でかぶるのは先にやらないと

麓：今後石垣部会 時間がかかりそうな気がする

名古屋城：ご心配な点はわかる

方針として示す必要はあると思う

三浦：麓先生の懸念はもっとも

補修する

限定修飾語

「被熱によって表面がはがれかかった石材

必要措置を講じる」

自ら首を絞める

この書き方だと全部直す 5年くらいかかりそう

村木：私ども この段階でどのレベル 具体的に検討はできていない

直接触れるところ 剥離してしまうところは事前に対応する必要

記述の仕方 検討したい

瀬口：非常に重要なところ
所長さんよろしく

古阪：現役の教授 終わった先生
何年たったのか
こういうことが起こっていいのか
姫路城 かなり前 相当な勢いでやった
大阪城 RC はじめての文化財 どうなったのか
山城 どうなったのか
名古屋城 ここまで遅れた
ある意味で文化庁 どういう風にやるか 書いて、
技術的価値、世界的価値
なにをどういうふうによれというのか
名古屋城 モルモットにするくらい
4年くらい終わって、市民の方も迷惑
名古屋市 戦争のためずいぶん被害
大事なところ ほったらかし
タクシー なぜ簡単にできないか
城を再現 文化庁 なにとなたにをやれとルールでもっているか
いろんなところ 立場がある
いったうえで指示を
今回2人 またおかしくなる
モルモットになってもいい
文化庁のルールはなにか
どういう審査員、指導員がいるのか
教えてもらえる立場 いうべき
われわれでも言っている 文化庁なにやっているのか
どんどん突っ込まれるおそれ
どこまで必要なのか、わかる必要があるのか
いつまでたっても われわれ天国から見ているかも
その方が名古屋城にとって良いのかも
本気でやってほしい
現役の先生がやっている
名古屋城、名古屋市にとってもいい効果が出る
ぜひともやってほしい
ちょっと言い過ぎだが

佐治：遅れた部分を取り戻さないと
文化庁の宿題
復元検討委員会の議論がはじまらないと進まない
うちの立場 全国の城を代表して発言

古阪：審議会でどういう議論がされるか
どういう発言ができていますか
文化庁ではなく、審議会でどういう議論になるか
文化庁がルール、判断基準を持っているのか
審議会 まともな議論ができていますか
非常に影響を与える
一応理解する方がよい
余計なことかもしれないが、あまりにも名古屋市がみじめすぎる

瀬口：モルモットにされないようにということ
1-43
現天守閣の再建
・城戸久の考え方だけ 名古屋市
鉄筋コンクリート復元 今後問題になると思う
これが最初
どんなことが議論 コンクリートしかない
作ってもしょうがない
やっぱり木造を作りたいという人 田淵さん
ほかの天守 鉄筋→木造
鉄筋しかなかった
当時の人 議論した中で名古屋市はこうだった 和歌山市はこう
このような議論が必要
前向きに検討してくれるか

村木：田淵と明確にかいているわけではない
名古屋市 御殿はコンクリート
天守は木造
田淵さんがかかわったか

瀬口：田淵さんの日記を読んで 不十分
以前から指摘してきた
当時木造復元したいという人がいないわけではない

ここは踏みとどまって、コンクリート どうなるかは
文化庁が方針を変えた
テストケースになっている

村木：もう一度調査して、検討

瀬口：前向きに検討
検討はやらない

村木：前向きに検討

佐治：前向き検討
全体整備検討会議 同じ文面で出したい

瀬口：時間がかかっている
名古屋が最初だから
右に倣えになりそう
だめならだめ
よろしいか
予定の1時間半になった 本日の議題
文化庁に提出する資料 三浦委員、麓委員修正
私の修正
このことを踏まえて
本日出されたこと 文化庁提出したい
本日の案で全体整備検討会議に提出したい
天守閣部会でも本日の案が了解された
ありがとう
私が修正を確認する
30日までに間に合わないかも
進行を事務局に返す

名古屋城：ありがとう
以上で会議を終了
15:32